

冬季アジア札幌大会の視察結果について

1 大会の概要

開催期間：平成29年2月19日（日）～26日（日）

参加国数：32の国・地域（ゲスト2か国を含む）

選手役員数：1,800人（うち選手1,164人）

競技数等：5競技11種別64種目・13会場（開会式会場の札幌ドームを含む）

ボランティア数：4,662人（登録者数）

2 視察先・体制等

組織委員会：職員が組織委員会の業務に従事し準備段階から運営状況等を調査
2月6日（月）～28日（火）・縣市各1名 計2名

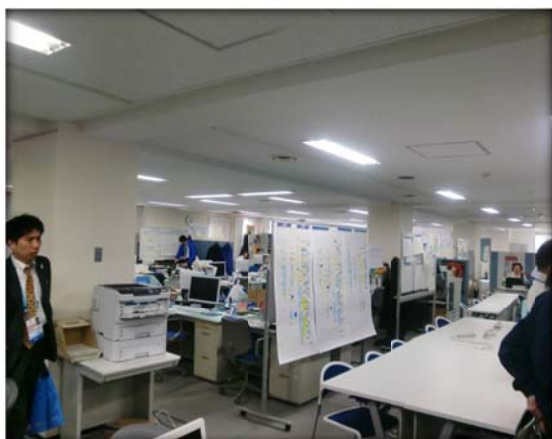
選手村・競技会場等：期間中の選手村・競技会場等の運営状況等を調査

2月17日（金）～27日（月）・県14名市9名 計23名

3 視察結果

(1) 大会運営本部

- ・ 組織委員会執務室内に大会運営本部を設置し、式典、競技、宿泊、警備等の各分野を総括（他に新千歳空港に空港運営本部、札幌市内に仮設により輸送本部を設置）
- ・ コールセンターには24時間体制で4か国語（英／中／韓／露）の通訳を配置
- ・ ボランティアは「一般」と「多言語対応」の2区分で募集し4,662名が登録



大会組織委員会の様子



大会運営本部の様子

(2) 開会式（札幌ドーム）・閉会式（真駒内アイスアリーナ）

- ・ 開閉会式に皇太子殿下が御臨席（開会式は天皇陛下の御名代）
- ・ 開会式はアイヌ民族舞踊、北海道民謡、地元出身アーティストによるライブを開催し大会を盛り上げ



開会式での選手入場の様子



開会式での盛り上げの様子

(3) 競技会場

- ・ 全競技会場で既存施設を使用し、諸室の不足は仮設プレハブ・仮設テントの設置等により対応
- ・ クリーンベニューという方針のため大会スポンサー以外の広告看板は排除
- ・ 会場内・会場周辺を主催者、警察、警備会社が連携して警備



仮設施設（ばんけいスキー場）



手荷物検査場（ばんけいスキー場）

(4) 選手村

- ・ 組織委員会が借上げたホテル（札幌市内2カ所、帯広市内1カ所）を使用
札幌市内：アパホテル（約1,000名）及びプリンスホテル（約650名）
帯広市内：日航ノースランド帯広（約150名）

- ・ 6時から23時まで食堂をオープン（ハラルメニュー・グルテンフリーメニュー・日本食等も提供）
- ・ ホテル内にトレーニング室がないため、近隣の体育館を借上げて対応
- ・ 各国選手団の到着時にはウェルカムセレモニーを開催（記念品の交換等）



選手村ホテルのエントランス



食堂ラウンジ（ハラルメニュー提供）

(5) シティドレッシング（大会PRのための街頭装飾）等

- ・ 札幌市内中心部の地下歩道にファンビレッジ（各種PRブース、パブリックビューイング会場等）を設営
- ・ 商業施設ビル、地下街、アーケード街等に横断幕、吊り広告、ポスターを掲出



駅入口の大会PR横断幕



アーケード街の吊り広告

(総括)

- ・ 大会運営には、民間事業者のノウハウが不可欠であり、大会運営組織に早い時点から参画いただくことが必要
- ・ 競技・選手村の運営には、競技団体、ボランティア等の協力が不可欠
- ・ 既存施設の活用等、アスリートファーストの視点を踏まえつつ、大会の簡素化を実現